

## 令和7年 二番茶情勢について

令和7年7月7日現在  
J A 静岡経済連 茶業課

### 1 気象状況【観測地点 菊川牧之原】

6月の平均気温は平年より高く推移しました。降水量は6月中旬～下旬が少なく、日照時間は平年を上回りました。

時期		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差
6月	上旬	19.9	+0.2	110.5	+58.3	48.9	▲7.3
	中旬	24.0	+3.2	81.0	▲23.7	66.2	+23.3
	下旬	25.2	+3.2	19.5	▲94.0	77.7	+39.7

### 2 生産状況

- 早場所及び中場所は6月末頃、ドリンク契約生産及び山間地・遅場所は7月上旬に大方終了しました。一部遅場所やてん茶生産は7月中旬まで続く見込みです。
- 生産前半の反収は伸び悩んだものの、増産要望により数量確保に動いたことや、6月中旬からの気温上昇により、後半の反収は増加しました。
- 荒茶品質は、生産前半から中盤まで安定していましたが、後半は数量確保による硬葉化、炭疽病の発生や水赤みなどの欠点により低下しました。
- 県下荒茶生産量は、前年(6,500t)を10%程度上回る見込みですが、地域・工場間での格差が見られます。

### 3 流通状況

- 茶商の下物在庫が少なかったことから、仕入れ要望は強く、価格変動の小さい取引となりました。価格を上げてもらうように数量が集まらない状況から、調達が不十分な茶商も見られます。
- 取引価格は、露地1,400円～1,100円程度、被覆1,800円～1,500円程度、てん茶5,000円～2,000円程度となり、県下荒茶平均価格は、前年(612円)を大幅に上回る見込みです(前年比200%前後)。前年は生産が継続できない価格であったため、本年の価格を維持する取組みが必要です。

### 4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

(単位: kg・円・%)

項目		令和7年(7/7現在)		令和6年最終実績		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡茶市場	県内産	357,919	1,339	330,113	643	108.4	208.4
	県外産	321,684	1,235	266,694	634	120.6	194.7
鹿児島茶市場		1,483,896	1,364	2,309,382	680	64.3	200.5

\*令和7年鹿児島茶市場は、5/30からの積上げ数値。

#### ㈱静岡茶市場情報(7月7日現在)

県内産二番茶は、一部茶種を除き、ほぼ終了となりました。試行中の入札コーナーには一番茶(130点)を上回る162点の出品があり、売り手の希望する最低落札値より上がり幅が平均2割以上となるなど、全茶種において引き合いが強く高値取引となりました。

以上